

第 26 回 コムズフェスティバル 市民企画事業 実施報告書

グループ名	女性と防災の会
開催日時	令和7年2月15日(土)10:00~12:30
テーマ	歩いて学ぼう 城山の地質
形式	講話&実地踏査によるワークショップ
講師等	防災情報研究センター 客員教授・愛媛大学名誉教授 高橋 治郎 氏
参加人数	女性 24名 / 男性 11名 【合計 35名】
<p>〈内容〉</p> <p><u>講師の講話</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・松山城のある勝山の地質や7月に起きた土砂災害について災害のメカニズムを学ぶ。 <p><u>観察会</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・堀之内を通り、黒門口まで徒歩移動。ラグビー場跡近くの斜面で地層が斜めに傾いていることや岩がボロボロになっている様子を観察。 ・黒門口に引き返ししながら、風化した岩の割れ目に木の根が入り込んでいる様子を観察。 ・黒門口から大手門を通り、登城。途中講師の解説。 ・山頂広場でトイレ休憩し、乾門の外でラグビー場近くの斜面で観察した地層がここからつながっている様子を観察。その後、先日の土砂災害発生場所を広場から眺めて、解説。 ・下山途中で、以前の土砂災害で愚陀仏庵が被災した時の発生場所を確認。 <p><u>振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者からの感想や質問を受け、皆で共有し講師より助言をいただいた。 ・勝山の土石流は他人事ではなく、自分事としてとらえる。 ・勝山に出向き岩石・地質・斜度、松山の地盤など特性から予想される災害を知り、命を守るために必要なことを考える。 ・自分の地域の防災マップの危険ゾーン以外でも災害が発生する可能性があることを想定し、自宅周辺の危険を再認識してもらう。 <p>〈参加者の感想〉 アンケート結果（詳細は別紙参照）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加の動機は城山の土砂災害への関心だが、毎年楽しみに参加してくれる方もあった。 ・参加後は、家族や友人知人、中には職場で話すというようにほとんどの方が誰かに話したいと回答した。防災マップを見直すという回答もあり、気づきを感じられた。 ・自宅周辺で起こりうる災害の一番は地震。それに伴う液状化や地盤沈下も危惧されている。 <p>〈まとめ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に城山を歩き、講師からその場で説明を受ける工夫をしたことで、参加者に「城山の地質や災害リスクを理解してもらう」という企画の目的が達成できたと思う。 ・城山の事例を通じて、災害リスクの高い場所には住まない、住んでいる場合はリスクを正しく理解し、災害時には適切な行動をとれるようにする、というメッセージも伝えることができた。 ・今回の研修が、より防災に関心を持ってもらうきっかけになったと思う。 	

- ・コムズを出て外で活動するという、今までにない方法での開催だったが、メンバー全員が自分の役割をそれぞれが認識し、臨機応変に活動できた。
- ・参加者の年齢層、体力、不測の事態を想定し入念に下見をするなど、団体として研修などの運営能力が向上したと思う。
- ・今回得た研修の運営スキルを、引き続き向上させていきたい。
- ・今回のように、市民のみなさんに広く関心を持ってもらえるテーマで研修を行いたい。そのためには、今後もメンバーが防災の様々なトピックにアンテナを張っていく必要がある。

※この報告書は、当財団のホームページに掲載させていただきます